

第1学年 生活科 年間指導計画

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 <small>(人・もの・こと)</small>	
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	(1)学校と生活 がっこう だいすき(16)	<ul style="list-style-type: none"> がっこうのことがしりたいな みんなとなかよくなりたいな ともだちとがっこうをたんけんしよう がっこうにいるひととなかよくなるろう がっこうでみつけたことをつたえよう みんなでつうがくろをあるこう 	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校したりすることができるようにする。	(1)学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付き、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付ける。	(3)学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとする。	【国】 ・よろしくね ・ひとつつながることば ・ほんがたくさん 【道】 ・がっこうだいすき 【学級】 ・みんなでなかよすごそう ・とうぼんのしごととにつちよくのしごと ・こうつうのきまりをまもろう 【学校行事】 ・交通安全教室	・明神たかおさん
5	(7)動植物の飼育・栽培 きれいに さいてね(8)	<ul style="list-style-type: none"> たねをまこう せわをしよう はなのようすをつたえよう 	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとするようにする。	(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、観察したり関わったりする。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。	【国】 ・こんなことしたよ	・JA 高橋さん
6	(6)自然や物を使った遊び なつが やってきた(8)	<ul style="list-style-type: none"> こうていでくさばなやむしをさがそう みんなのこうえんであそぼう みずであそぼう たのしかったことをつたえよう 	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとするようにする。	(1)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付ける。	(3)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする。	【国】 ・えにつきをかこう 【体育】 ・水あそび	
7	(7)動植物の飼育・栽培 いきものと なかよし(6)	<ul style="list-style-type: none"> むしをさがそう むしとなかよくなるろう 	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、適切な世話をし、大切にしようとするようにする。	(1)身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、観察したり関わったりする。	(3)身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。	【国】 ・としよかんはどんなところ ・はっけんしたよ 【道】 ・あさがお	
10	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び たのしい あき いっぱい(21)	<ul style="list-style-type: none"> こうていであきをさがそう こうえんであきをさがそう はっぱやみであそぼう あきのことをつたえよう あきのおもちやをつくらう いっしょにあそぼう 	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにする。	(1)秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることで、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりする。	(3)秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとする。	【国】 ・なにに見えるかな 【学級】 ・ようちえんじとなかよくなるろう ・こうりゅうかい 【学校行事】 ・収穫祭	・保護者 ・園児 ・藤村さん ・野瀬さん ・水足さん
11	(7)動植物の飼育・栽培 きれいに さいてね(4)	<ul style="list-style-type: none"> たねをとろう しゅうかくしよう 	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとするようにする。	(1)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付ける。	(3)夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする。	【国】 ・こんなことしたよ 【道】 ・みんないきてる	・JA 高橋さん

12	(2)家庭と生活 じぶんでできるよ (12)	<ul style="list-style-type: none"> ・じぶんのいちにちをみつめよう ・じぶんでできることをしよう ・これからもつづけよう ・むかしからつたわるあそびをたのしもう 	<p>家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。</p>	(1)家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを見付ける。	(3)家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。	<p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これならできる <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふゆやすみのすごしかた 	・保護者
1	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び ふゆをたのしもう (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・こうていでふゆをさがそう ・ふゆのこうえんにいこう ・そとであそぼう ・ゆきやおこりであそぼう ・ふゆのことをつたえよう 	<p>冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、冬の自然の様子や季節によって生活の様子が変わることや自然を利用した遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。</p>	(1)冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや、それを利用した遊びの面白さに気付く。	(2)冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりする。	(2)冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりする。	<p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にほんのあそび 	<ul style="list-style-type: none"> ・明神りえさん ・地域のサロン
2	(9)自分の成長 もうすぐ2ねんせい (18)	<ul style="list-style-type: none"> ・あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう ・しょうたいしたことをはなしあおう ・いちねんかんをふりかえろう ・ありがとうわたしたちのきょうしつ 	<p>入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。</p>	(1)入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付く。	(2)入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりする。	(3)入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうがっこうのことをしょかいしよう ・1年かんをふりかえろう <p>【図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころのはなをさかせよう <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なわとびカード ・やればできるんだ ・みんなみんなありがとう <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたらしい1年生に手がみをかこう ・1年間のしめくくりをしよう ・もうすぐ2年生 <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入児体験入学 ・6年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児 ・お世話になった地域の方
3								

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	(5)地域と生活 (3)季節の変化と生活 春だ 今日から 2年生(6)	<ul style="list-style-type: none"> 校でいで春をさがそう 春のまちを歩こう 	<p>春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の様子を見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気をつけて生活しようとするようにする。</p>	(1)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付く。	(2)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の様子を見付けたりすることができる。	(3)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気をつけて生活しようとする。	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> かんさつしたことを書こう <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生になって 	
5	(6)動植物の飼育・栽培 ぐんぐん そだて わたしの 野さい	<ul style="list-style-type: none"> 野さいをそだてよう 野さいのせわをしよう 野さいのようすをつたえ合おう 	<p>植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとするようにする。</p>	(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができる。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとする。	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> かんさつしたことを書こう サツマイモのそだて方 <p>【算】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さをはかってあらわそう 	<ul style="list-style-type: none"> JA 高橋さん
6	(3)地域と生活 まじりたんけん(10)	<ul style="list-style-type: none"> まちのことを話そう たんけんの計画を立てよう まちをたんけんをしよう 見つけたことをつたえ合おう 	<p>地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとするようにする。</p>	(1)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付く。	(2)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けることができる。	(3)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとする。	<p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ月間 <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局 谷淵組 JA あったかふれあいセンター 池商店 フードセンター 高原スーパー 郵便局 いのや 虎太郎像 美容室 東津野中学校 花音
7	(7)動植物の飼育・栽培 生きもの なかよし 大作せん(10)	<ul style="list-style-type: none"> 生きもののお話を話そう 生きものをさがそう 生きものをそだてよう 生きもののお話を話そう 	<p>生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切にしようとするようにする。</p>	(1)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が成長していることや、生命をもっていることに気付く。	(2)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	(3)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとする。	<p>【音】</p> <ul style="list-style-type: none"> 虫の声 <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> かえってきたホテル 	
9	(6)自然や物を使った遊び おもちゃ(12)	<ul style="list-style-type: none"> つくりたいおもちゃをきめよう うごくおもちゃをつくらう もっとよくうごくおもちゃにしよう あそび方をくふうしよう 	<p>身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。</p>	(1)身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付く。	(2)身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を換えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくることことができる。	(3)身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> あそびかたをせつめいしよう <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> こんなときどうするのかな <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫祭 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生 さくらんぼ園 教員
10	(4)公共物や公共施設の利用 みんなであつかう まちの しせつ(6)	<ul style="list-style-type: none"> 図書かんをつかおう 図書かんのことを聞いてみよう みんなであつかうしせつのことを話し合おう 	<p>公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなが使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどが気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするようにする。</p>	(1)公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなが使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付く。	(2)公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりすることができる。	(3)公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとする。	<p>【学級活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさん本を読もう 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 あったかふれあいセンター

10	(3)地域と生活 もっと なかよし まちたんけん(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・たんけんの計画を立てよう ・もういちどたんけんに行こう ・見つけたことをしようかいしよう ・まちの人に聞きに行こう ・分かったことを話し合おう 	地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関りを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするようにする。	【学級活動】 ・なかよし集会 ・たくさん本を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・あつたかふれあいセンター ・図書館 ・高原スーパー ・どんぐり農園 ・グリーン ・高原スーパー ・ガソリンスタンド ・川上縫製工場 	
11			(1)地域の人々に関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付く。	(2)地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けることができる。		(3)地域の人々に関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする。
11	わたしの野さい(4) ぐんぐんそだて	<ul style="list-style-type: none"> ・野さいをしゅうかくしよう 	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。	【国】 ・ありがとうをつたえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・JA 高橋さん 	
11			(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができる。		(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとする。
12	(8)生活や出来事の伝え合い つながる 広がる わたしの生活(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・つたえたいなまちのすてき ・もっとくわしくしらべよう ・つたえたいことをまとめよう ・まちのすてきをとどけよう 	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関ることのよさや楽しさが分かることとともに、進んで触れ合い交流しようとするようにする。	【国】 ・この人をしようかいたします	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・あつたかふれあいセンター ・図書館司書さん ・明神りえさん 	
12			(1)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関ることのよさや楽しさに気付く。	(2)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。		(3)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとする。
1	(9)自分の成長 あしたへジャンプ(27)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・自分のことをまとめよう ・ありがとうの気持ちをつたえよう 	自分の生活や成長をふりかえる活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするようにする。	【国】 ・「ありがとう」をつたえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者 ・幼稚園の先生 ・上級生 	
2			(1)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付く。	(2)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けることができる。		(3)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとする。
3						【道】 ・生まれるということ ・こうさとびができた 【学級活動】 ・まとめの集いをけいかくしよう ・まとめの集会

第3学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	津野町のお茶づくりの魅力	津野町の名産品「津野茶」について調べよう(20)	(1)「中央小 お茶アドバイザーになろう!」というゴールを確認し、「津野町のお茶とはどのようなものなのかを知り、まとめたことをいろいろな人たちに伝える」という課題を立てる。 (2)お茶摘み、茶工場の見学、お茶もみを行い、お茶の作り方を学ぶ。 (3)見学や体験で知ったことをまとめ、さらに知りたくなったことを考え、インターネットを用いて調べたり、お茶にくわしい方の話を聞いたりしてまとめる。 (4)調べたことを活かして、販売に向けて、商品名を考えたり、ポスター等で発信する。	津野茶の茶摘み・茶もみなどの体験活動を通して、地域の名産品であるお茶に目を向け、そのよさを理解し、お茶について調べたことや話し合ったことをもとに、自分たちができることを考えとともに、自分と地域の関わりについて取り組むことができるようにする。			【社】 ・わたしたちのまちと市 【道】 ・あいさつ名人 ・マリーゴールド ・お茶農家の方 ・日本茶インストラクター 柿谷菜穂子さん	
5			①津野町のお茶についてや、お茶の生産に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②お茶の生産の流れがどのようなになっているかを知るために体験を行い、調べるなかで、情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町のお茶に関する知識の深まりは、津野町のお茶の知識を身につけるために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の名産の中でも、特に自分たちが詳しくないことを基に課題を設定することができる。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、お茶作りを残していこうと積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②お茶摘み体験や茶工場見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町のお茶の生産に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちができることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)			
6								
7								
9	津野町のお茶に関する人々の思い	「津野茶」のおいしさ(魅力)を伝えるための工夫を知ろう(35)	(1)「津野茶のおいしさを伝えよう!」という課題を立てる。 (2)JA、役場、農家の方などに来てもらい、お茶の美味しさを広めるための工夫について聞く。 (3)グループで聞いた工夫を種類ごとに分類する。 (4)知った工夫をレポートにまとめ、できたレポートを見てもらい、美味しさを広めるための工夫は他にないか考える。	自分たちが製品化したお茶の販売や、工場見学などの体験活動を通して、生産者のくふうや努力を理解し、津野茶が地域にとって大切な存在であることに気づき、津野茶のよさを広めるために自分たちができることを考えたり、行動したりできるようにする。			【社】 ・はたらく人とわたしたちの暮らし 【学級】 ・学級ボランティアをしよう ・藤村佑子さん(草木染) ・ツノチャマルシェのお客さん ・満天の星の工場の方	
10			①津野町のお茶についてや、お茶の生産に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②お茶の生産、販売に携わる人の工夫や努力、思いを知るためのインタビューなど、情報収集の技能を身に付ける。(技能) ③津野町のお茶に関する知識の深まりは、津野町のお茶のよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町のお茶の美味しさの広め方について考え、その中でも特に調べたいこと、自分たちが知らないことを基に、課題を設定することができる。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、地域を見つめ直し、津野茶を大切に、津野茶から地域活性化に取り組む人たちと自分の関わりを見直そうとする。(自己理解・他者理解) ②地域の方へのインタビューや工場見学の体験を通し、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町のお茶の美味しさや、地域の人たちの努力を伝えるために、自分たちができることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)			
11								
12			(1)「お茶の美味しさを広めるために、上手に販売するにはどうすればよいか」という課題を立てる。 (2)より多くのお茶を販売するための方法を調べる。 (3)調べたことを用いて、販売の準備を行う。 (4)お茶の販売を通して学んだことをワークシートにまとめ、発信する。					
1	津野町の名産品「津野茶」の魅力を広めよう(15)	津野町の名産品である津野茶について調べたり、まとめたりする活動を通して、自分と津野茶の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野茶の魅力を知ってもらうために、自分たちができることを考え、行動できるようにする。	①津野町のお茶についてや、お茶の生産に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②お茶の生産、販売に携わる人の工夫や努力、思いを知るための他地域へのインタビューなど、情報収集の技能を身に付ける。(技能) ③津野町のお茶に関する知識の深まりは、津野町のお茶のよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町のお茶の美味しさの広め方について考え、その中でも特に調べたいこと、自分たちがよりよくしたいことを基に、課題を設定することができる。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、地域を見つめ直し、より多くの人に、津野茶のよさ知ってもらえるよう、自分が学んだことを伝え、残していこうと積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②他地域の方へのインタビューなどの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町のお茶の美味しさや、地域の人たちの努力を伝えるために、自分たちができることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・案内の手紙を書こう 【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし) 【道】 ・ふるさとの味 土佐文旦 ・スーパーパティシエ物語 ・お世話になった人たち ・中央小学校全校 ・お茶農家の方		
2								
3								

第4学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	東津野地域の川と山の魅力	北川川 の 魅力 を 調 べ よ う ! (25)	(1)東津野地域の魅力について考えたり、実際に川へ行って体験したりしたことをもとに、課題を見出し、解決するための見通しを持たせる。	東津野地域の川について調査する活動を通して、自分の身の回りの地域の自然を見つめ、そのよさや魅力を理解し、北川川の魅力を知ってもらうために、自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにする。	①北川川の水比較から問いを見いだし、北川川の魅力を探る課題を自らつくり、解決に向けて見通しをもつ。 (課題の設定)	①課題解決に向けて、自分のよさや自分にできることに気づき、自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・たしかめながら話を聞こう ・みんなで新聞を作ろう ・お願いやお礼の手紙を書こう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬 ・このままにしていたら	・魚族保護会(豊田さん) ・リバーマスター ・四万十川財団 ・西川先生 ・町役場(建設課) ・山賊茶屋の中華さん …アメゴ ・川上さん …アユ
5			(2)北川川の特徴について、体験や調査、地域の方へのインタビューを通して情報を収集する。 ・水生生物調査 ・カヌー・川の調査 ・魚の食べ比べ 等	②北川川にすむ生物の状況を捉えるために、生物種や生息環境に応じた方法で調査を実施する。 (技能)	②北川川の魅力把握するために、自分なりの手段を選択し、情報を収集する。 (情報の収集)	②水生生物調査や漁などの活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
6			(3)北川川魅力を視点ごとに整理し、北川川だからこその魅力について追究する。北川川魅力を伝える新聞に載せる記事を選ぶ。	③北川川魅力に対する自らの認識の高まりは、川とそこに生息する生物や、川を守る人との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり分類したりしながら解決に向けて考える。 (整理・分析)	③北川川魅力を知ってもらうために、自分たちにできることを見つけ、問題解決のために行動に移そうとする。 (将来展望・社会参画)		
7			(4)北川川魅力について新聞にまとめ、津野町の回覧板で発信する。		④北川川魅力を知ってもらうために、自分たちにできることを考え、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。 (まとめ・表現)			
9	東津野地域の川と山に関わる産業や保全に関わる人々の思い	北川川が清流巡り利き鮎会に出場していない理由を調べよう! (25)	(1)第24回清流巡り利き鮎会の結果を示し、「なぜ、北川川の鮎は利き鮎会に出場していないのだろう?」という課題を設定し、2学期の活動の見通しをもたせる。	北川川が清流巡り利き鮎会に出場していない理由を調査する活動を通して、自分の身の回りの地域の自然を見つめ、山と川との関係を理解し、北川川の自然環境を守るために自然環境と自分たちの生活の関係を考えるとともに、身近な自然を大切に生活したり、自然を守るために行動したりすることができるようにする。	①北川川が清流巡り利き鮎会に出場していない事実から課題を設定し、解決に向けて見通しをもつ。 (課題の設定)	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究活動に取り組もうとする。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・みんなで新聞を作ろう ・お願いやお礼の手紙を書こう ・「ふるさとの食」を伝えよう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・琵琶湖のごみ拾い ・ぼくたちのバラ花だん	・馬瀬川(岐阜県) ・中成(中上さん) ・森林組合(高橋さん) ・水利組合長(上岡さん) ・魚族保護会(豊田さん)
10			(2)北川川の降水量や気温、鮎の放流量を調査したり、津野町森林組合や中成を見学し、川と山の繋がりについて調べたりして、出場していない原因を調べる。	②北川川と馬瀬川の様々な情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。 (技能)	②北川川が清流巡り利き鮎会に出場していない理由を把握するために、自分なりの手段を選択し、情報を収集する。 (情報の収集)	②森林組合や中成などの見学を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
11			(3)北川川についての情報を整理し、今年度グラプリを取った馬瀬川との比較を行い、利き鮎会に出場していない理由を分析する。	③北川川環境や気候と、アユの生育には関連があることと理解は、自然や自分たちの生活、川と山との関係を、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えることができる。 (整理・分析)	③自分と川や地域の人々等とのつながりに気づき、川を環境を保持するために自分たちができることを見直そうとする。 (将来展望・社会参画)		
12			(4)出場していない原因をまとめ、豊田さんに発表する。豊田さんのお話を聞いた後、課題に対するまとめを考え、学びを振り返る。		④北川川が清流巡り利き鮎会に出場していない理由について、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。 (まとめ・表現)			
1	2024年、利き鮎会でグラプリを取れるようにしよう! (20)	2024年、利き鮎会でグラプリを取れるようにしよう! (20)	(1)小単元1・2を振り返り、「2024 清流めぐり利き鮎会に出場し、グラプリを取れるようにしよう!」という課題を設定する。	自分たちの住む東津野地域の川や山の問題点を解決するための調査や取組を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、北川川が清流めぐり利き鮎会でグラプリを取れるように、自分たちにできることを考えるとともに、地域と協力しながら地域のよさを残していこうとしたり、行動したりすることができるようにする。	①北川川の鮎や環境について得た情報を結び付け、来年グラプリを取れるようにするにはどうすればよいか考え、課題を設定することができる。 (課題の設定)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたら、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・言葉で考えを伝える ・調べたことをほうこくしよう 【社】 ・わたしたちの県のまちづくり 【理】 ・生き物の1年 【道】 ・祭りだいこ ・ぼくたちのバラ花だん	・魚族保護会(豊田さん) ・地元農家【かかし作り】 ・津野町役場産業課 ・地域住民 ・リバーマスター ・四万十川財団
2			(2)北川川の問題点を解決するための調査(鮎・石・藻・害鳥)、豊田さんへのインタビューを通して情報を収集し、取組(案山子作り・ポスター・ゴミ拾い)を考え、実際に行う。	②北川川が来年、利き鮎会でグラプリを取れるようにするために、様々な情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。 (技能)	②北川川が来年、利き鮎会でグラプリを取れるようにするために、自分なりの手段を選択し、情報を収集することができる。 (情報の収集)	②ゴミ拾いやポスター作りなどを通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
3			(3)調査結果や取組を整理したり、取組の効果を分析したりする。	③北川川を大切に守り、利き鮎会でグラプリを取ってほしいという自己の思いの変容は、地域の自然やその魅力について探究的に学んだことによる成果であると気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、解決に向けて考えることができる。 (整理・分析)	③北川川が来年、利き鮎会でグラプリを取れるようにするために、自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。 (将来展望・社会参画)		

第5学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)					
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等							
4	米作りから見える津野町の食	津野町の自慢料理調べ (30)	(1)お米の育て方や、工夫に目を向け、もみまき、苗作り、田植えを体験し、収穫後の見通しを持って、津野町の食への関心を高める。 (2)お米の成長や、作業について調べ、米の収穫までの工程を知る。津野町の地元の食材を使った料理について、情報を収集する。 (3)情報収集した内容から、米パーティーで作りたい料理や必要な材料について情報を整理する。 (4)お米を育てるために行った作業、他教科との関連・学校行事との繋がりについてまとめ、今後の見通しを持つ。	米作りを体験することを通して、津野町で自然を生かした農業が行われていることを理解し、地域の農業のよさやそれに関わる人たちの思いを知るとともに、津野町の食により深く関わる課題を見出して活動することができる。	①津野町の米作りについて知り、地域の農業のよさや地域に住む人の思いを理解する。(知識) ②地域に昔からあるものを大切に扱ったり、地域の人と気持ちのよいコミュニケーションをとったりするなど、適切に接することができる。(技能) ③津野町の米作りや食材について知りたいという自己の思いの変容は、地域の農業や人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると感じ付く。(探究的な学習のよさの理解)	①米作りについて関心を持ち、収穫後の活動について見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定) ②1年間の米作りの過程や津野町の食材を使った料理について調べたり、地域の方から、実際に話を聞いたりして、情報を収集することができる。(情報の収集) ③津野町の食材を知ったことから、米パーティーで作りたい料理に必要な食材について調べ、情報を整理することができる。(整理・分析) ④整理・分析したことをもとに、他教科との関連・学校行事との繋がりについてまとめ、今後の見通しを持つことができる。(まとめ・表現)	①探究的な活動の中で、自分や友達のを生かしながら、協働して学び合おうとする。(自己理解・他者理解) ②課題解決に向けて、目的意識を持ち、他者と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③米作りや津野町の食材を活かした料理調べ等の課題を解決するために、地域とどのように関わっていけば良いかを考え、実践に移そうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・知りたいことを聞き出そう ・環境問題について報告しよう 【理】 ・天気の変化 ・植物の発芽や成長 【社】 ・国土の気候と地域の特色 ・未来を支える食料生産	・水足さん ・地域の方々				
5			津野町の自慢料理作り (30)	(1)稲刈りを体験しながら、津野町の自慢料理への関心を高める。 (2)1学期にまとめた料理の情報をもとに、家族から津野町の自慢料理や自分達で作れそうなおかずについて聞き取りを行い、知ったことをもとに、タブレットやインタビューを通して、より詳しい情報収集し、食を支える人々の工夫や地域への思いを知る。稲刈り体験を通して、農家さんの工夫や苦勞を知る。 (3)調べた情報を整理して、調理可能なメニューを考える。 (4)津野町の食材を使ったメニューを考え、調理実習を行い、今までの学習を通して、情報収集したことをまとめる。	米作りに挑戦する活動を通して、津野町の食に関わる人たちの工夫や努力、地域への思いを理解し、教えてもらったことを活かして調理を行うことで、地域のよさや課題解決に向けた改善策について、自分たちから発信する方法を考える。また、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組んでいくことができる。	①自分たちが育てている米を使った料理を作るために、取り組まなければならない課題を発見し、どのような方法で情報を集めればよいか意見を出し合うことができる。(課題の設定) ②津野町の食に詳しい人や地域の料理を把握するために、手段を選択して多様な方法で情報を収集したり、種類に応じて蓄積したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食を伝えるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②インタビューやメニュー作りなどの活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の食のよさを伝えるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・和の文化を受け継ぐ 【社】 ・未来を支える食料生産 【理】 ・花から実へ 【家】 ・食べて元気！ごはんのみそ汁 【外】 ・Unit7 What would you like? 【道】 ・ひとふみ十年 水がわたる橋 一通潤橋一 【学校行事】 ・収穫祭	・水足さん ・地域の方 ・保護者 ・ヘルスマイト				
9				津野町の食の魅力、発信 (10)	(1)地域の食に関わる情報をたくさんの人に知ってもらう方法を考えて、津野町のよさの1つとして発信することを確認し、関心を高める。 (2)情報発信の手段について調べる。 (3)情報を発信したい相手にあった発信の方法を整理・分析して、決定する。 (4)津野町の食文化を発信し、自分たちにできることや地域の活性化に繋がることに目を向ける。	津野町の食を町内外の人に発信する活動を通して、伝えたい相手や内容によって工夫が必要であることを理解し、地域のために自分たちにできることが何かを考えるとともに、津野町のよさを再確認することができる。	①地域の食のよさを発信することの課題を見出し、相手に応じて伝える方法や手順を考えて計画を立てることができる。(課題の設定) ②町外で行われている、食に関わる活動について知ったり、発信の手段について調べたりすることができる。(情報の収集) ③自分たちにできる発信方法を見出し、どのようにアピールすれば相手に伝わるか考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食について学んだことを町外の人に知らせることで、地域をアピールする。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②町内外の人と関わる活動の中で、他者と協働して活動に参加しようとする。(主体性・協働性) ③探究的な活動を通して、津野町の食のよさを伝えることで、自分と地域の関わりを再認識し、地域のためにできることを考え取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【社】 ・未来とつながる情報 【図】 ・MYキャラが動き出す 【道】 ・おじいちゃんのぼち	・水足さん ・地域の方 ・保護者			
10					津野町の食の魅力を発信 (10)	(1)稲刈りを体験しながら、津野町の自慢料理への関心を高める。 (2)1学期にまとめた料理の情報をもとに、家族から津野町の自慢料理や自分達で作れそうなおかずについて聞き取りを行い、知ったことをもとに、タブレットやインタビューを通して、より詳しい情報収集し、食を支える人々の工夫や地域への思いを知る。稲刈り体験を通して、農家さんの工夫や苦勞を知る。 (3)調べた情報を整理して、調理可能なメニューを考える。 (4)津野町の食材を使ったメニューを考え、調理実習を行い、今までの学習を通して、情報収集したことをまとめる。	米作りに挑戦する活動を通して、津野町の食に関わる人たちの工夫や努力、地域への思いを理解し、教えてもらったことを活かして調理を行うことで、地域のよさや課題解決に向けた改善策について、自分たちから発信する方法を考える。また、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組んでいくことができる。	①自分たちが育てている米を使った料理を作るために、取り組まなければならない課題を発見し、どのような方法で情報を集めればよいか意見を出し合うことができる。(課題の設定) ②津野町の食に詳しい人や地域の料理を把握するために、手段を選択して多様な方法で情報を収集したり、種類に応じて蓄積したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食を伝えるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②インタビューやメニュー作りなどの活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の食のよさを伝えるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・和の文化を受け継ぐ 【社】 ・未来を支える食料生産 【理】 ・花から実へ 【家】 ・食べて元気！ごはんのみそ汁 【外】 ・Unit7 What would you like? 【道】 ・ひとふみ十年 水がわたる橋 一通潤橋一 【学校行事】 ・収穫祭	・水足さん ・地域の方 ・保護者 ・ヘルスマイト		
11						津野町の食の魅力を発信 (10)	(1)地域の食に関わる情報をたくさんの人に知ってもらう方法を考えて、津野町のよさの1つとして発信することを確認し、関心を高める。 (2)情報発信の手段について調べる。 (3)情報を発信したい相手にあった発信の方法を整理・分析して、決定する。 (4)津野町の食文化を発信し、自分たちにできることや地域の活性化に繋がることに目を向ける。	津野町の食を町内外の人に発信する活動を通して、伝えたい相手や内容によって工夫が必要であることを理解し、地域のために自分たちにできることが何かを考えるとともに、津野町のよさを再確認することができる。	①地域の食のよさを発信することの課題を見出し、相手に応じて伝える方法や手順を考えて計画を立てることができる。(課題の設定) ②町外で行われている、食に関わる活動について知ったり、発信の手段について調べたりすることができる。(情報の収集) ③自分たちにできる発信方法を見出し、どのようにアピールすれば相手に伝わるか考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食について学んだことを町外の人に知らせることで、地域をアピールする。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②町内外の人と関わる活動の中で、他者と協働して活動に参加しようとする。(主体性・協働性) ③探究的な活動を通して、津野町の食のよさを伝えることで、自分と地域の関わりを再認識し、地域のためにできることを考え取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【社】 ・未来とつながる情報 【図】 ・MYキャラが動き出す 【道】 ・おじいちゃんのぼち	・水足さん ・地域の方 ・保護者	
12							津野町の食の魅力を発信 (10)	(1)地域の食に関わる情報をたくさんの人に知ってもらう方法を考えて、津野町のよさの1つとして発信することを確認し、関心を高める。 (2)情報発信の手段について調べる。 (3)情報を発信したい相手にあった発信の方法を整理・分析して、決定する。 (4)津野町の食文化を発信し、自分たちにできることや地域の活性化に繋がることに目を向ける。	津野町の食を町内外の人に発信する活動を通して、伝えたい相手や内容によって工夫が必要であることを理解し、地域のために自分たちにできることが何かを考えるとともに、津野町のよさを再確認することができる。	①地域の食のよさを発信することの課題を見出し、相手に応じて伝える方法や手順を考えて計画を立てることができる。(課題の設定) ②町外で行われている、食に関わる活動について知ったり、発信の手段について調べたりすることができる。(情報の収集) ③自分たちにできる発信方法を見出し、どのようにアピールすれば相手に伝わるか考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食について学んだことを町外の人に知らせることで、地域をアピールする。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②町内外の人と関わる活動の中で、他者と協働して活動に参加しようとする。(主体性・協働性) ③探究的な活動を通して、津野町の食のよさを伝えることで、自分と地域の関わりを再認識し、地域のためにできることを考え取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【社】 ・未来とつながる情報 【図】 ・MYキャラが動き出す 【道】 ・おじいちゃんのぼち	・水足さん ・地域の方 ・保護者
1								津野町の食の魅力を発信 (10)	(1)地域の食に関わる情報をたくさんの人に知ってもらう方法を考えて、津野町のよさの1つとして発信することを確認し、関心を高める。 (2)情報発信の手段について調べる。 (3)情報を発信したい相手にあった発信の方法を整理・分析して、決定する。 (4)津野町の食文化を発信し、自分たちにできることや地域の活性化に繋がることに目を向ける。	津野町の食を町内外の人に発信する活動を通して、伝えたい相手や内容によって工夫が必要であることを理解し、地域のために自分たちにできることが何かを考えるとともに、津野町のよさを再確認することができる。	①地域の食のよさを発信することの課題を見出し、相手に応じて伝える方法や手順を考えて計画を立てることができる。(課題の設定) ②町外で行われている、食に関わる活動について知ったり、発信の手段について調べたりすることができる。(情報の収集) ③自分たちにできる発信方法を見出し、どのようにアピールすれば相手に伝わるか考えることができる。(整理・分析) ④津野町の食について学んだことを町外の人に知らせることで、地域をアピールする。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(自己理解・他者理解) ②町内外の人と関わる活動の中で、他者と協働して活動に参加しようとする。(主体性・協働性) ③探究的な活動を通して、津野町の食のよさを伝えることで、自分と地域の関わりを再認識し、地域のためにできることを考え取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【社】 ・未来とつながる情報 【図】 ・MYキャラが動き出す 【道】 ・おじいちゃんのぼち

第1学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
4	地域の魅力や課題	東津野の環境を守る人々(20)	(1)前単元の学びをもとに、自分たちの考える地域の魅力と課題を整理する。	東津野のゴミ問題や地域の美しい自然を守っている人々の調査やゴミ拾い活動を通して、自分たちが当たり前だと感じている生活は、地域の人々の支えで成り立っていることを理解し、東津野の美しい自然環境を守り未来に向けて少しでも現状を改善していく方策を考えるとともに、ふるさと東津野を愛する心を育成できるようにする。			【国】 ・話し方はどうかな ・調べて分かったことを伝えよう ・根拠を明確にして書こう 【理】 ・身近な生物の観察 【英】 ・Program 0 【道】 ・私は掃除のプロになる ・富士山から変えていく	・B&Gの人 ・Yショップの人 ・高原スーパーの人 ・どんぐり農園の人 ・津野町役場産業課の人 ・地域の人 ・小学生 ・中学生 ・保護者
5			(2)ゴミ問題について行政や地域の人にインタビューしたり、アンケートを取り、情報を収集する。	①東津野のゴミ問題や生活を支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解する。(知識)	①東津野のゴミについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①東津野のゴミについて関心をもち、ゴミ問題を解決するために、互いのよさを生かし自分の意思で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。(自己理解・他者理解)		
6			(3)集めた情報を整理・分析し、自分たちにできることを考える。	②東津野のゴミの現状を捉えるために、インタビューやアンケートによる調査を相手や目的に応じて、適切に実施する。(技能)	②東津野のゴミについての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積することができる。(情報の収集)	②東津野の生活を守っていく方策について、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、その意見のよさを生かしながら協働して学び合うことができる。(主体性・協働性)		
7			(4)アンケート結果を踏まえ、自分たちにできることを考え実践する。	③東津野の生活を未来につなげたいと思う気持ちは、地域の生活を支え守っている人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③東津野のゴミに対する意識を変えるためにどうしたらいいか、整理したことをもとに、自分たちにできることに視点を定めて多様な情報を分析して、現状を改善していく方策を考えることができる。(整理・分析)	③東津野の生活を未来につなげるために、自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献することができる。(将来展望・社会参画)		
9					④東津野の生活を守っていくための自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現することができる。(まとめ・表現)			
10	津野山古式神楽の歴史・演目・保存会	東津野の歴史「津野山古式神楽」を守る人々(20)	(1)「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考え、課題を設定する。	東津野地域における、津野山古式神楽が継承されてきた地域の背景や人々の関わりについての調査を通して、津野山古式神楽を守ってきた人々の思いや願いを理解し、津野山古式神楽を支え、継承していく上での課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。			【国】 ・案内や報告の文書を書こう 【社】 ・原始・古代の日本と世界 【理】 ・音の性質 【家】 ・地域の食文化 【音】 ・日本の民謡 【英】 ・Program 4 【道】 ・震災を乗り越えて一復活した郷土芸能ー ・奈良筆に生きる	・津野山古式神楽保存会 ・東津野の婦人会 ・神楽奉納を参観に来ている人 ・地域の人
11			(2)神楽保存会や、地域の人、2・3年生にインタビューしたり、神楽に必要な物作りの体験をしたりして情報収集を行う。	①津野山古式神楽を支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解する。(知識)	①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて関心をもち、課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。(自己理解・他者理解)		
12			(3)インタビューや体験したことを整理分析し、津野山古式神楽とのつながりについて考える。	②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりなどの現状を捉えるために、体験やインタビューを通し、相手や目的に応じて、情報を収集できる。(技能)	②津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積することができる。(情報の収集)	②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合うことができる。(主体性・協働性)		
			(4)整理分析したことをまとめて、「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考えたことを相手意識をもって発表する。	③津野山古式神楽の歴史や演目の内容、保存会の思いを伝えていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、分かったことや継承してきた思いを整理分析し、考えることができる。(整理・分析)			
				④津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現することができる。(まとめ・表現)	④津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合うことができる。(主体性・協働性)			

1	津野山古式神楽の歴史・演目・保存会	東津野の歴史「津野山古式神楽」を広める人々(10)	(1)「津野山古式神楽」を広めるためにはどうしたいか課題を設定する。	津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりに対しての調査を通して、津野山古式神楽の継承には、そこに関わる人々の思いや願いがあることを理解し、津野山古式神楽の魅力と継承していく上での課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を広めるために自分達にできることを考えられるようにする。			【国】 ・話し合いで理解を深めよう	・津野町歴史博物館学芸員 田中さん ・津野山古式神楽保存会 嶋崎さん
			(2)津野山古式神楽に関係している方々にインタビューをして情報収集を行う。	①津野山古式神楽を広めるためにはどうしたらいいか、継承の現状や課題について理解する。(知識)	①津野山古式神楽の継承について現状を把握し課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①津野山古式神楽の継承について関心を持ち、課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。(自己理解・他者理解)		
			(3)他地域の神楽とのつながりを知り、得た情報を「神楽を広める」という視点で整理分析をする。	②津野山古式神楽の継承や他地域の神楽の継承について、関係者の方に話を聞いたり、インタビューをして情報を収集できる。(技能)	②津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積することができる。(情報の収集)	②津野山古式神楽を広めるために、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合うことができる。(主体性・協働性)		
2			(4)津野山古式神楽を他地域に広めるために自分たちがやってみようことをまとめて、次の計画を立てる。	③津野山古式神楽を広めていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③津野山古式神楽を広めることについて、分かったことや考えたことを整理分析することができる。(整理・分析)			
3					④津野山古式神楽を他地域に広めるために自分の考えをまとめ、目的や相手に応じて論理的に表現することができる。(まとめ・表現)			

第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	地域の産業や文化を守る人	地域の伝統文化を守る人(20)	(1)津野山古式神楽を広めるための方策を考える。	他地域の伝統文化に対する調査と津野山古式神楽を他地域に広める活動を通して、津野町と他地域との違いについて理解し、地域の人と伝統文化との関わりについて考えるとともに、その地域で、伝統文化を守るためにできることを考えられるようにする。			【国】 ・考えを比べながら書こう ・郷土のよさを伝えよう 【社】 ・近世の日本と世界 ・日本の諸地域(中国・四国地方、近畿地方、関東・東北地方)	・京都に住む人 ・京都の観光客 ・京都の観光資源 ・津野町歴史博物館学芸員 田中さん ・津野山古式神楽保存会 嶋崎さん
5			(2)京都自主研修で津野山古式神楽を広めるとともに津野町や津野山古式神楽についての認知度に対する情報を収集する。	①京都と津野町の文化を継承している人々の思いについて理解する。(知識)	①京都と津野町の文化を比較して課題を見出し、解決の方法や手順を考えて、見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①探究的な活動を通して自分自身を理解し、他者の意見を取り入れて尊重しながら学び合いができる。(自己理解・他者理解)		
6			(3)収集した情報を整理・分析し、津野町と京都などの他地域にはどのような違いがあるのか見つける。	②「津野山古式神楽」に関わる人々の思いや願い、現状や課題を理解する。(知識)	②京都や津野町で継承されてきた文化の歴史を調べたり、体験したり、継承している人々と関わることで、その魅力や背景にある人々の思いや願いについて情報を収集することができる。(情報の収集)	②地域の様々な学習活動によって、様々な関わりができた人々と協働し、進んで取り組むことができる。(主体性・協働性)		
7			(4)津野山古式神楽を広めるために調べた他地域と津野町の違いをまとめて共有する。	③情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能)	③京都や津野町の文化にはどんな魅力があり、その共通点は何か、1000年もの時を越えて継承されている背景には人々のどんな思いがあるのか、収集した情報をもとに自分達にとっても大切なものは何かを考えることができる。(整理・分析)	③地域の文化を受け継ぐ人々との関わりの中で、地域にとって必要なことを考え、仲間と協働して発信したり行動したりすることを通して、自分の生き方やふるさとのことについて、自分の言葉で語れる。(将来展望・社会参画)		
9	津野山古式神楽の伝統文化を継承する人	日本の神楽を継承する人(30)	(1)神楽を広める(継承する)ために自分たちにできることを考える。	津野町における津野山古式神楽保存会や全国の様々な地域に対しての調査を通して、津野山古式神楽の継承にはそこに関わる人々の思いや願いがあることを理解し、津野山古式神楽の魅力と継承していく上での課題に広く目を向けるなどして伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るためにできることを考えられるようにする。			【国】 ・考えを比べながら書こう ・郷土のよさを伝えよう ・根拠を吟味して書こう ・説得力のある提案をしよう ・話し合いで問題を検討しよう 【社】 ・近代の幕開け ・近代の日本と世界 【音】 ・雅楽「越天楽」 【道】 ・和樹の夏祭り ・包む	・津野山古式神楽保存会 嶋崎さん ・津野山神楽保存会(栲原) 川上さん ・津野山古式神楽保存会(楽・舞の指導)
10			(2)地域内外の多くの人に出会い、津野山古式神楽を広めたいという思いを伝えると同時に情報を収集する。	①津野山古式神楽に関わる人々の思いや願いを理解する(知識)	①津野山古式神楽に広く目を向けて課題を見出し、相手や目的に応じて解決方法を考えるなど、見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①探究的な活動を通して自分と地域との関わりを見直したり、他者の考えや意見のよさを生かしながら、学び合うことができる。(自己解決・他者理解)		
11			(3)地域内外の人から集めた情報をもとに「継承」について深める。	②情報を多面的に見たり、考えを具体化するなど探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能)	②他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択し、適切に蓄積することができる。(情報の収集)	②津野山古式神楽の魅力と課題をまとめる活動に他者と協働して進んで取り組むことができる。(主体性・協働性)		
12			(4)継承してきた人の思いを知り、その思いを継承していけるように楽を演奏したり、調べたことをまとめる。	③津野山古式神楽の魅力が分かったり、その魅力を発信したり継承していきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③事象や考えを比較したり、因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析することができる。(整理・分析)	③探究的な活動を通して、津野山古式神楽の魅力と課題をまとめ、自分と地域との関わりを意識しながら、地域のためにできることを進んで考えたり、地域の活動に参加したりすることができる。(将来展望・社会参画)		
				④調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて工夫して表現したり、地域のために生かしたりすることができる。(まとめ・表現)				

1	津野山古式神楽の伝統文化を継承する人	津野山古式神楽を継承する人(20)	(1) 保存会の方や神楽に関わる人について知る。	津野山古式神楽を継承する人々への調査を通して、継承する人々がどのような仕事をしながら神楽に関わっているのかを理解し、継承することへの意義を考えるとともに、伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。			【国】 ・依頼状やお礼状を書こう ・話し合いで問題を解決しよう 【道】 ・小さな工場の大きな仕事	・津野山古式神楽に関わる人々の職業
			(2) 保存会の方や神楽に関わる人にインタビューをする。	①津野山古式神楽を継承する人々がどのような仕事をしながら神楽に関わっているのか理解する。(知識)	①継承することを自分事と捉え、課題解決の方法や目的に応じて伝える手順を考えるなど、見通しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①探究的な活動を通して、自分と地域との関わりを見直したり、他者の考えや意見のよさを生かしながら、学び合うことができる。(自己解決・他者理解)		
			(3) インタビューなどで調べてきた情報を整理・分析する。	②情報を構造化、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能)	②他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択し、適切に蓄積することができる。(情報の収集)	②自分の意思で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組んだり、自他のよさを生かしながら他者と協働して進んで取り組んだりすることができる。(主体性・協働性)		
2	津野山古式神楽の伝統文化を継承する人	津野山古式神楽を継承する人(20)	(4) 津野山古式神楽への思いと自分たちにできることをまとめる。	③津野山古式神楽を継承することへの意義を理解するとともに、それがそこに関わる人々について探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析することができる。(整理・分析)	③探究的な活動を通して、継承することの意義やそこに関わる人々についてまとめ、自分と地域との関わりを意識しながら、自分が体験してみたいことに積極的に取り組むことができる。(将来展望・社会参画)		
3				④調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて工夫して表現することができる。(まとめ・表現)				

第3学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

津野町に誇りをもち、自分の生き方やふるさとについて自分の言葉で語れる子ども

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
4	働くことの意味や地域で働く人の思い	なぜ人は働くのか(30)	(1)これまでの総合的な学習の時間にお世話になった方々が仕事に携わっていることを思い出し、なぜ人は働くのか、働く意味に焦点を当てられるような課題を設定する。	津野町(東津野地域)で生きる人の仕事や働く人々の思いについて調べる活動を通して、地域で仕事をしている人たちの支えがあってこそ自分たちの生活が成り立っていることを理解し、地域の産業や職業の特徴や工夫を考えるとともに、様々な仕事に目を向け自分と地域の関わりを自分事としてとらえることができるようにする。	①津野町の職業を通して、地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	①自他の考えや意見のよさを生かしながら、自分の生き方を考えるために学ぶことができる。(自己理解・他者理解)	【国】 ・間違えやすい敬語 ・観察、分析して論じよう ・場面に応じて論じよう ・何のために「働く」のか 【道】 ・出迎え三歩、見送り七歩 ・あるレジ打ちの女性	職場体験先 ・畜産公社 ・町図書館 ・さくらんぼ園 ・中央小学校 ・にし美容室 ・Yショップ ・JA輝 ・満天の星 社会人講師 ・さくらんぼ園山添さん ・とさわ小橋さん ・レストランポルベール山本さん ・消防組合常石さん ・梶原高校安達校長 ・Rhythm prema今橋さん
5			(2)職場体験で実際に仕事を体験したり、インタビューしたりして、働く意味に関する情報を収集する。	②津野町の職業を通して、地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。(課題の設定)	②津野町の職業を体験することにより実生活、実社会の問題に、他者と協働して、進んで取り組むことができる。(主体性・協働性)			
6			(3)職場体験の感想、振り返りをグループで共有し、違う職場で共通していることなどを整理して、働く意味を分析する。	②地域の産業や職業の特徴や工夫を考えるために必要な情報を収集する活動を、目的や対象に応じて適切に実施することができる。(技能)	③職場体験学習を通じて、自分の将来と地域との関わりを意識しながら、地域のためにできることを進んで考え、実行することができる。(将来展望・社会参画)			
7			(4)体験したことや働く人から学んだこと、これからどう生きるかをまとめ、発表する。	③自分たちも地域を支える一員であるという思いは、自分の生活と地域のつながりについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	④他教科で培った表現力等を活用し、相手や目的に応じて工夫して表現したり、地域や自分の将来のために生かしたりすることができる。(まとめ・表現)			
9	地域の伝統文化「津野山古式神楽」を未来につなぐ	私にとって、津野山古式神楽とは(31)	(1)小学校から学習している「津野山古式神楽」に対する自分の思いの変容に気づくことができるような課題を設定する。	「津野山古式神楽」の舞の体験活動を通して、神楽伝承に関わる課題を理解し、「津野山古式神楽」を未来へ受け継いでいく方策を考えるとともに、自分の思いの変容を自分の言葉でまとめることができるようにする。	①「津野山古式神楽」で自分が舞う演目を決め、その舞を表現する取組を通して課題に対する解決の方法や手順を見直しをもって考えることができる。(課題の設定)	①「津野山古式神楽」で自分が舞う演目の練習を通して、その魅力に気づいたり、舞の表現力を高めたり、保存会の方々の教えや仲間の学び、意見などを受け入れ尊重しながら「津野山古式神楽」を伝承していくことに取り組むことができる。(自己理解・他者理解)	【国】 ・観察・分析して論じよう 【社】 ・現代社会と私たちの生活 【音】 ・歌舞伎「勧進帳」 【道】 ・父は能楽師 ・昔と今を結ぶ糸 ・「稲むらの火」余話	・津野山古式神楽保存会の方々 ・神楽学習会を参観された方々 ・先輩の神楽発表会の感想文
10			(2)舞の練習を通して、舞の意味や保存会の人の思い、地域の人々の思い等を情報収集する。	②「津野山古式神楽」の舞で、自分の思いや考え、願いを込めて表現するための探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能)	②「津野山古式神楽」で自分が舞う演目の練習を通して、神話のストーリーや所作の意味、伝承してきた人々の思いなどの情報を収集し、適切な方法で蓄積することと重ねたり、調べたり、地域の人々や町外に住む人々の意見を聞いたりして必要な情報を取捨選択することができる。(情報の収集)			
11			(3)3年間分の津野山古式神楽発表会の感想を比較しながら、神楽に対する思いの変容を整理・分析する。	③心を込めて「津野山古式神楽」を舞いたいと思う気持ちは、伝統文化を伝承している人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	③「津野山古式神楽」の魅力を整理するとともに、これを伝承していくために自分ができることに視点を定めて多様な情報を分析することができる。(整理・分析)			
11			(4)これまで学習してきた中で、津野山古式神楽に対する自分の思いの変容を自分の言葉でまとめる。	④「津野山古式神楽」の魅力を実践で積み重ねてきた舞で表現するとともに「津野山古式神楽」が時代を越えて今も存在する意味や価値、様々な人々とのつながりなど、収集した情報と自分が感じたことをまとめることができる。(まとめ・表現)	③津野山古式神楽で自分が舞う演目の表現や神社での神楽奉納を見学し、地域にとって必要なことを考えることを通じて、津野山古式神楽への思いの変容を自分の言葉でまとめることができる。(将来展望・社会参画)			

12	地域の伝統文化「津野山古式神楽」を未来につなぐ	自分の未来を描き、津野町を語る(9) (個人探究)	(1)津野町を自分の言葉で語るができるような課題を設定する。	9年間の探究的な学習を通して、津野町を大切に思う気持ちは、地域内外の様々な人と関わりながら探究的な学びを続けてきた成果であることを理解し、津野町の魅力を再度整理するとともに、津野町と自分をつなげて考え、自分の言葉で津野町を語るができるようにする。			【国】 ・今の思いをまとめよう ・場面に応じて話そう 【社】 ・現代の民主政治と社会 ・私たちの暮らしと経済 ・地域社会と私たち 【道】 ・「川端」のある暮らし ・塩むすび ・町内会デビュー	・3年間の総合のスパイラル表 ・3年間作成してきた学習新聞 ・小学校の卒業アルバム ・小学校での総合的な学習の時間の活動している写真 ・これまでの単元冊子等
1			(2)これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容(津野町の伝統文化や産業、自然に関することやそれに関わる方たちの思い等)を確認し、津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集する。	①津野町の伝統文化や産業に関わる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。(知識)	①課題に対する解決の方法や手順を、見通しをもって考えている。(課題の設定)	①これまでの総合的な学習の時間で関わってきた人々の思いや仲間の意見などを受け入れ尊重しながら自分を見つめ直し、学び合うことができる。(自己理解・他者理解)		
2			(3)津野町の魅力を整理し、どのような内容で津野町を語りたのかを思考ツールを使って分析する。	②津野町に対する自分の思いや考えを、自分の言葉で語るための探究の過程に応じた技能を身に付けている。(技能)	②津野町の魅力に関する情報を改めて収集し、更に地域の人々の意見を聞いたりして津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集、取捨選択している。(情報の収集)	②津野町の伝統文化や産業にかかわる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組むことができる。(主体性・協働性)		
3	(4)これまで津野町について探究し、整理・分析してきた内容を自分の言葉でまとめ、自分の言葉で津野町を語る。	③津野町のことを語り、津野町のが好きだという気持ちは、伝統文化を伝承している人々や産業に関係する人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)	③津野町の魅力を整理するとともに、津野町について自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。(整理・分析)	③津野町について考える中で、地域にとって必要なことと自分たちにできることを考え、自分の生き方やふるさについて自分の言葉で語れる。(将来展望・社会参画)				